



宗四小だより

6月号

志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数592名 令和4年6月1日発行



目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



「探求学習の充実を！」

校長 高柳 政行

本校では、考える力の中核である思考力・判断力・表現力の育成に力を入れています。特に、「総合的な学習の時間」では、深い学びにつながる「探求」を重視しています。そのカリキュラムの資料はホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらを参照ください。

本校の取組が教育界でどんな意味があるのか、少し専門的になりますが日本教育新聞の社説（2022年3月21日）の内容を抜粋した資料を紹介することでご理解いただければ幸いです。

今回の学習指導要領改訂（令和2年度小学校で本格実施）を一言で言えば「探究」に尽きるかもしれない。「探究」が教育課程の基準である学習指導要領に位置付けられたのは、前回、平成20年の学習指導要領改訂の際、「各教科における習得や活用と総合的な学習の時間における探究」と中央教育審議会答申に示されたことを受け、総合的な学習の時間の目標に「探究的な学習」の文言が挿入された。その上で、「総合的な学習」の指導要領解説で「問題解決が発展的に繰り返されること」「物事の本質を探ってみ極めること」と説明された。加えて、(1) 課題の設定、(2) 情報の収集、(3) 整理・分析、(4) まとめ・表現というプロセスが明示され、全国の多くの実践の指針となった。

OECD（経済協力開発機構）のPISAが示してきた読解のプロセスを参考にしており、育成を目指す資質・能力を確実にしていくとともに、国際標準の学力にも対応したものである。また、「総合的な学習」は、その役割が総則に示されたり、高校では「総合的な探究の時間」へと名称変更されたりして、教育課程の中核へと地位を高めてきた。文科省のみならず、経産省でも「学びの探究化、STEAM化」として注目している。一人一人の子どもが自ら課題を見つけ、身の回りの問題解決に向けて学び続ける「総合的な学習」は、SDGsの17目標とも深く関わり、自治体や企業が大きく関心を寄せている。紆余曲折を経ながらも、「総合的な学習」は教育課程の重要な役割を担ってきた。コロナ禍の今、その重要性は一層輝きを増している。未来社会にとって欠かすことのできないこの時間を、ますます充実させることが、全ての学校に求められている。



本校6年生の総合的な学習の時間 単元名「地域の伝統文化を受け継ごう」の内容紹介

宗岡の歴史や伝統文化を知る・世界遺産の日光東照宮を知るなど豊富なフィールドワークの実施や体験的な学習を行います。具体的には、5月下旬から宗岡地域を中心に歴史や伝統について3回に分けて学びはじめました。6月には、天神社のお祭りで行われている宿組のお囃子や演舞などを学校で実演してもらいます。その由来、思いや願いなども学びながら鑑賞します。

「探求学習」に欠かせないのが地域の教育力です。ゲストティーチャーとして10名以上の方々にお世話になりながら、課題設定と情報収集の連鎖を考え学習を進め、時にタブレットも活用し、随時、資料整理や分析なども行います。児童が自らの考えをまとめたり、グループで協働して考えをまとめたりしながら、できることを考えたり、実行したり、表現活動に取り組んだりします。さらに、学習の振り返りを丁寧に行うなど、主体的・対話的で深い学び、つまり「探求」の時間が充実するよう教員はコーディネートしていきます。今後、6年生をはじめ、各学年の「総合的な学習の時間」どんな学びが展開されていくのか注目していただくことで、上記の内容の理解も進むと考えます。特に、学習で育成された資質・能力が学校教育目標の「考える子ども」における学校教育短期目標とどう結びつくのかも注目していただきたいと考えています。



☆5月21日（土）の運動会では、宗四小の子ども達のため、多くの保護者の皆様に応援いただきありがとうございました。子ども達は、見られることで、緊張しつつも自分の力を出し切ろうと精一杯、頑張っていました。6月の学校生活の充実にもつなげていきます。

